

中学校の窓

中学校の紹介

「ホームページも、開いてみてください」

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。

詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一中学校

統括校長 吉村 正久



「日野一中ビルドアッププランの推進」

本校は日野市の「二中プロジェクト事業」を受けて、①学力の向上 ②進路指導の充実 ③部活動の充実 を柱とする「日野一中ビルドアッププラン」をつくり、プランの実現に努めています。その具体策として、昨年度一月より土曜日補習(国語・数学・英語)を実施しています。また、本年度四月に吹奏楽部を新設しました。これからも日々の授業の充実、家庭学習の充実、英検、数検の実施に取り組みます。また、本年度は都の「スポーツ教育推進校」の指定を受けて体力・運動能力の向上に取り組めます。プランの実現に合わせて、日野一中の生徒が「智・徳・体」のバランスの取れた人としてたくましく成長してくれることを願っています。



土曜日補修の様子

<http://www.j-hino1.hino-ky.ed.jp/>

日野第二中学校

校長 尾形 斉



「自立(自律)・信頼・思いやりのある学校」を目指します

本校は「二中プロジェクト事業」を受けて、規範意識がしっかり身についた生徒、そして人のために尽くせる生徒、思いやりのある生徒の育成に頑張っています。

《自校を誇れる学校づくりが大きな目標です》

二中プロジェクトは◎心と体を育む『生き方教育』の推進。(食育教育の推進、道徳授業の充実等)◎基礎学力の向上。(補習授業の充実、漢検、英検の学校支援の充実等)◎充実ある部活動の推進。◎地域との連携教育の推進。(三世代の集い、初日の出ふれあいマラソン等の参加)です。二中の素晴らしさを多くの人に広めたいと思います。



ボランティア活動(落ち葉掃き)

<http://www.j-hino2.hino-ky.ed.jp/>

七生中学校

校長 中野 秀樹



「挨拶の七生中・マナーの七生中」

「挨拶の七生中・マナーの七生中」と昨年に引き続き、さわやかな挨拶が飛び交う学校を目指しています。毎月、月初めの三日間、規律委員の生徒と教員が校門前に立って、元氣よく挨拶運動を展開しています。また、生徒の「学習習慣」の定着を図るために、「家庭学習カード」と「朝読書」の取り組みを全校で実践しています。「朝読書」の取り組みで、一日の始まりを落ち着いた状況でスタートすることができています。本校は、学校のために協力を惜しまない保護者、学校を温かく見守る地域の方々、そして、生徒と真摯に向き合う教員が力を合わせて、子ども達の健全育成を図っています。

<http://www.j-nanao.hino-ky.ed.jp/>

日野第三中学校

校長 石村 康代



「生徒にとってよりよい教育環境をつくる学校」

よい教育環境には、指導力を高めるために常に努力する教員、生徒のために絶大な協力をくくださる保護者・地域の皆様などの人的環境、充実したICT設備に代表される物的環境などがあります。また、生徒たち自身が互いに学びを尊重し合う姿勢とその基盤をなす「けじめ」ある学校生活も重要な要素です。その点から、三中はよい教育環境にあるといえます。

「三中プロジェクト事業」で、今年度は141名、4学級の新入生を迎えることができました。三中を支えてくださる全ての方々のおかげと感謝しています。これまでのよい伝統を継承・発展・充実させて「よりよい教育環境」をつくり、よりよく生きようとする生徒を育てていきます。

<http://www.j-hino3.hino-ky.ed.jp/>

日野第四中学校

校長 千葉 正



「一日のスタートは元氣なあいさつから」

四中生の一日は、明るく元氣な「あいさつ」から始まります。生徒会によるあいさつ運動も実施していて、四中のよき伝統として今も受け継がれています。生徒会活動も活発で、特に生徒総会の中で行われる意見発表会では、様々な意見が出され、全校生徒が一体となった発表会になっています。四中を思う気持ちの強さがひしひしと伝わってきます。

前向きで様々な活動に積極的に取り組んでいる生徒がいて、そして生徒をいつも献身的に支えてくれる保護者や地域の皆様がいいます。今年も学校・家庭・地域の連携を大切に、「楽しく安全で、あいさつのできる学校」を目指していきます。

<http://www.j-hino4.hino-ky.ed.jp/>

三沢中学校

統括校長 正留 久巳



「生徒一人一人を大切に、鍛え可能性を伸ばす学校」

頑張る時はいつも今「学ぶ姿勢」を身につけることは、生涯にわたって大切です。そのためには、授業の規律を徹底し、教える育てていくことが重要となります。また、人格の完成を目指すには、人としての在り方を教えることも必要です。この二つを本校の教育の基本方針として取り組んでいます。そして、生徒一人一人を大切に、鍛え可能性を伸ばす学校を目指しています。学ぶ姿勢づくりを重要な視点とし、基礎・基本を身につけさせることをすすめ、学習・部活動に全力で取り組める生徒の育成を図っています。生活指導は生き方の基盤づくりとして、あらゆる機会を捉え指導し、社会の一員としての態度の育成をすすめています。また、道徳教育を大きな柱とし、研究を基に、指導法の充実を図り、教材開発をおこなっています。少人数指導の教科を数学、ティームティーチングで理科を実施しています。



運動会スローガン

<http://www.j-misawa.hino-ky.ed.jp/>

大坂上中学校

校長 岡部 秀敏



「学び場 ホワイト&ブルー坂中」

学校のスローガンに「学び場 ホワイト&ブルー坂中」を掲げ、明るく元氣でさわやかな学校を目指します。

また、年間を通して全校一斉に行う10分間の朝読書から、落ち着いた一日のスタートを期待しています。

今年度は七〇〇名を超える生徒とともに、「よいこととはよい・悪いことは悪い、ダメなことはダメ」そして「しっかりと挨拶する」という基本的な生活を心がけること、教員の指導で学力向上を期待し、大坂上中は明るく元氣でさわやかな学校を目指します。



全校で行われている朝読書風景

<http://www.j-ohsakaue.hino-ky.ed.jp/>

平山中学校

校長 秋山 譲児



「経験を超えた対応力を持つ生徒の育成」

子どもたちは、変化が激しくグローバルな社会の中で、遅く歩んでいくことが求められています。また、大きな自然災害などに対しても、希望を捨てることなく強く生きていく力が必要です。『当たり前のことを当たり前にやる』(日々のやるべきことに全力を尽くす)ことの積み重ねが、経験のないことにも立ち向かえる力になると信じ、次の三つを柱に学校経営を進めております。

- (1) 授業規律の確保と学力向上
- (2) 楽しく安全な学校生活の実現
- (3) 地域との連携と教育力の導入

今秋の開校三十周年記念式典を機に、新たな学校の姿を創造してまいります。



美しくあれ 健やかにあれ (合唱祭風景)

<http://www.j-hirayama.hino-ky.ed.jp/>